

鳥取市下水道等事業経営戦略に対する市民政策コメントの結果

1 実施期間：令和6年1月5日（金）～1月25日（木）

2 意見応募者数：1名 提案等の総数：11件

3 提出された意見、提案等と市の考え方

番号	項	該当箇所	意見要旨	市の考え方	対応方針
1		不明水対策について	<p>現在、管路の老朽化等により降雨時に汚水流量が急激に増加し、マンホール等からの溢水や未処理放流等の衛生上のリスクが発生するとともに維持管理費の増加を招いています。</p> <p>については、投資計画のなかに不明水対策を位置づけ、不明水の現状や課題等を踏まえた重点的な対策が必要と考えます。</p>	<p>不明水対策につきましては、本市としても重要な課題と認識しており、平成24年度から開始した包括的民間委託の中に、処理場等施設と合わせ管路施設も盛り込み、既に重点的に取り組んできています。</p>	参考意見
2	16	浸水対策について	<p>令和7年度を目途にされている「雨水管理総合計画」の策定にあたっては、計画降雨に対するハード対策の目標となる整備目標について、浸水リスクが高い地域では計画降雨の水準を上げる等（現状 1/7 ⇒ 1/10 等）地域の状況に応じた柔軟な整備目標の検討をお願いしたい。</p>	<p>「雨水管理総合計画」では、浸水シミュレーションの成果を基に対策区域の設定や計画降雨の見直しなどを行うこととしており、この計画の策定段階で検討していく予定です。</p>	盛り込み済
3	18	道路陥没事故の未然防止対策について	<p>鳥取市の管路延長1570 kmを調査目標距離21 km / 年で割ると75年となり、75年に1回調査する計算となります。</p> <p>市が目標としている管渠の耐用年数は75年（標準耐用年数50年）であり、75年に1回の調査では管路の安全性の確保は困難と考えます。少なくとも管路の重要度や布設されている道路の重要度等により、5年から15年に1回の点検、10年から50年に1回の調査は必要と考えます。</p>	<p>管路状況把握調査につきましては、今回の経営戦略の計画期間となる10年の間に耐用年数の50年を経過する管路の全てを調査できる水準となる、平均21km/年と設定しているものです。</p> <p>これに加えて、令和6年から8年までの目標値は、現時点で既に50年を経過した管路の重点的な調査を加え、46km/年としています。</p>	参考意見

番号	項	該当箇所	意見要旨	市の考え方	対応方針
4	21	公共用水域の水質改善について	<p>積極的な水洗化の促進には、経済的事情や高齢化といった課題を踏まえた施策が必要と考えます。</p> <p>既存の改造資金の無利子貸し付け等の支援策を拡充し、高齢世帯、生活保護世帯、市民税非課税世帯等を対象とした接続費用の一部を助成するなどご検討頂きたい。</p> <p>併せて、浄化槽の法定保守点検ならびに清掃の啓発を主要な取組に加えて頂きたい。</p>	<p>浄化槽の適正管理に関する取組みにつきましては、本経営戦略の対象でないため、ご提案のあった内容を加えることを考えていません。</p> <p>なお、個人財産である排水設備の接続工事に対する支援策は無利子貸付にとどめ、費用の一部助成は行っておりませんが、公共用水域の更なる水質改善を図るためには、下水道への接続率を向上させることが何より重要と考えていますので、今後も直面する課題を念頭に、接続勧奨等の普及促進活動に工夫を加えながら取組み、接続率向上を図ってまいります。</p>	参考意見
5	22 ・ 23	下水道施設の資産管理について	<p>8行目 スtockマネジメント計画は、施設の統廃合計画ではないため、「Stockマネジメント計画の運用を継続して推進し、」を「・・・継続して推進するとともに、施設の統廃合・・・」に修正した方が適切ではないかと思えます。</p> <p>また、Stockマネジメント計画は、全ての公共下水道施設を対象とした令和6年度までの計画と認識していません。Stockマネジメント計画の推進として、令和15年度末の設定目標として設備数が掲げられていますが、この数値がどのような意味を持つのか分かりません。注釈をお願いします。</p>	<p>(P22)8行目は、ご意見いただきましたように、「継続して推進するとともに、施設の統廃合」に修正します。</p> <p>(P23) Stockマネジメント計画は、長期的（処理場・ポンプ場50年、管路100年）な視点で改築のシナリオを設定する長期計画、経営戦略の期間と合わせた具体的な改築対象の施設・設備を盛り込んだ中期計画、概ね5年程度の期間を対象とした実施計画の3つの計画で構成されており、令和6年度は実施計画の区切りに過ぎません。</p> <p>経営戦略にお示ししている目標は、3つの計画のうち、中期計画に基づいて設定しています。</p>	修正

番号	項	該当箇所	意見要旨	市の考え方	対応方針
6	23 ・ 24	鉄筋コンクリート管の更新等について	<p>鉄筋コンクリート管について、目標耐用年数を75年に設定され、随時管更生等を行うとされているが、図25のグラフは、50年以上の管が71.3kmとしか表示されておらず目標耐用年数75年と現在の管渠の経過年数の関係が分かりません。</p> <p>また、注釈では50年を経過した管は要更新とされています。目標耐用年数まで長寿命化を図る計画であれば、「要更新」ではなく「標準耐用年数を超過」の表現の方が適切ではありませんか。</p> <p>設定目標の令和15年度末目標44.4kmについて、令和15年度までに長寿命化が必要となる管路延長が記載されていないため、適切な目標数値なのか判断できません。</p>	<p>ご意見を踏まえて、グラフの表記をわかりやすく修正いたします。</p>	修正
7	25	広域化・共同化について	<p>従来通りの事業運営では持続的な事業の執行が困難になりつつあるとしたうえで、本市の広域化・共同化の取組として、「排水設備指定工事事業者登録申請書の様式統一、必要書類の統一」を目指すとされています。</p> <p>中核市として水処理や汚泥処理、再資源化、処理場統合など、もう少し広域化・共同化に向けた積極的な取組が必要と考えます。</p>	<p>広域化・共同化につきましては、鳥取県主催により平成30年から協議を行っており、このなかで汚水・汚泥処理の共同化などについても検討してまいりました。</p> <p>この結果、県東部では、施設の状況・地形的な要因・人口推計・災害時のリスク分散などを考慮したうえで、行政区域を越えての広域化・共同化を目指すこととせず、それぞれ単独で汚水処理施設の統廃合を推進することとなりました。</p> <p>なお、汚泥の集約処理については、今回の条件下での検討では定量的効果は見込めず、計画策定に至りませんでした。今後、今後も検討を行っていくこととしています。</p>	盛り込み済

番号	項	該当箇所	意見要旨	市の考え方	対応方針
8	25	官民連携のさらなる強化による事業の推進について	<p>令和9年度の「ウォーターPPP」導入を目指すとされています。</p> <p>ウォーターPPPの導入は、現在の包括的民間委託を更に民間運営の方向に移行させるもので、今後の鳥取市の下水道経営を左右する重要な選択となります。</p> <p>対象とする施設や業務範囲、導入効果など、速やかに且つ慎重に検討する必要があります。令和9年度の導入を目指すのであれば、ウォーターPPP導入に向けたロードマップを経営戦略に示しておくべきではないかと思えます。</p>	<p>「ウォーターPPP」導入に向け、現在検討を進めているところですが、国からの制度詳細に関する情報も少なく、現時点において、ロードマップをお示しできない状況です。</p> <p>今後も引き続き情報収集や検討を行い、適切な時期に本市のロードマップを示していきたいと考えております。</p>	参考意見
9	25	DXの推進について	<p>水道スマートメータ化により、非対面・非接触による自動検針が実現できるほか、毎月検針毎月徴収や見える化サービス等によるお客さまサービスの向上、施設の維持管理の効率化やダウンサイジング化、災害時の早期漏水対応など防災危機管理の向上、降雨時の不明水の把握などの効果が期待されます。</p> <p>導入に向けた研究や検討を計画に盛り込むことは出来ないでしょうか。</p>	<p>水道スマートメータ化につきましては、鳥取市水道局の対応となりますので、本経営戦略に盛り込むことはできません。</p> <p>いただいたご意見は、今後の事業運営の参考とさせていただきます。</p>	参考意見
10	26	財政計画・維持管理費について	<p>図28によると、令和6年度以降の管渠・ポンプ場・処理場の維持管理費について削減努力により現状継続に比べ3～8%の削減効果が見込めるとの試算がされています。</p> <p>平成29年度に経営戦略を策定し、具体的にどのような努力（取組）を行ってきたことで令和6年度以降の維持管理費の削減効果として現れてくるのかを記載された方が経営戦略の策定効果が分かりやすくなると思えます。</p> <p>また、CO2排出削減の取組が維持管理費の削減効果として現れることについて、説明を加えた方がイメージしやすいと思えます。</p>	<p>令和6年度以降の維持管理費の削減効果につきましては、現時点で計画済みの施設の統廃合などに加えて、今後策定する予定の「（仮称）鳥取市下水道等事業カーボンニュートラルプラン」による期待値なども含めた目標値としていることから、具体的に何がどれだけの効果を生むのか表すことは困難です。</p> <p>カーボンニュートラルプランを通じて明らかにする削減効果については、経営戦略の次期見直しに反映させます。</p>	参考意見

番号	項	該当箇所	意見要旨	市の考え方	対応方針
11	46	経営目標と進捗管理について	目標値が面積や施設数のみの標記では進捗度が分かりにくいと感じます。必要全面積や必要施設に対する整備割合を併記いただきたい。	対象となる面積や施設数などは、主な施策とする理由や現状などの説明を加えて記載したほうが良いと考えているため、4-1投資計画の中に記載し、P4 6では目標の項目と値の一覧のみ標記しております。	参考意見